

令和2年度大阪府立西野田工科高等学校 定時制の課程 第3回学校運営協議会

□日 時：令和3年1月22日（月）18:30～20:00

□出席者：協議会委員6名、准校長、教頭、生徒部長、教務部長、進路指導主事、記録担当者

□第一部：会長挨拶、准校長挨拶

□第二部：協議

◆第2回授業アンケート結果について（教頭より説明）

- ・「令和2年度第2回授業アンケート（12月実施）」について
- ・全体の肯定率は、96%と前回の90%から大きく上がった。特に教養系の授業が高い結果となった。
- ・生徒の意識については、多くの生徒が授業で学んだ知識や技能が身についたと感じている。

◆令和2年度学校教育自己診断について（教頭より説明）

- ・生徒との通用門でのあいさつ、声掛け、健康カードを介しての関わりを設けたことが良かったと思う。
- ・保護者の回答数が少ないことについては今後の課題である。
- ・教職員間に関する係についての肯定的回答率を高めることが、組織マネジメントの大きな課題である。

◆学校の状況報告【今年度の総括】（教務部・生徒部より説明）

【教 務 部】生徒数の推移、教務概要、出席率の推移など

【生 徒 部】生徒指導、特別活動、部活動、保健活動、教育相談など

【進路関係】進路状況（内定者等）、今後の取組みなど

◆学校経営計画及び学校評価について（准校長より説明）

- ・防犯だけではなく、健康や命を守るためにも「命を守る教育の充実」について追加しました。
- ・毎日健康確認を行い、生徒の心身の状況に早い段階で気づいて対応できるようにしている。生徒の健康と安全を守る取り組みとして継続していく。
- ・確かな学力の育成では、GsuiteなどのグループウェアやChromeBookを生徒に1人に1台配備し、生徒がオンライン授業や支援ツールとして活用できるよう進める。

◇委員からの意見

- ・自己肯定感は大変であり、現在も学校に通う中ですごく自己肯定感が上がっていると感じている。自分ができる事がわからない、何がしたいかわからないというところから、一歩前進して自分のできることが増えてくる中で、やりたい事を見つけられるといった生徒の進む道を広げていただければと思う。
- ・全体的に良い生徒達ばかりであることが感じられ、学校教育自己診断や授業アンケートのほとんどの数値があがっていることもよいのではないかと思った。

◆まとめ

- 次年度は、新型コロナ禍により、本年度実施できなかったことを含め、生徒にとって学校生活がより良いものになるように努めていきたい。